

みんなdeスポーツ! わが町の取り組み

⑬

茨城県

茨城県特別支援学校体育連盟は養護学校義務制の翌年、昭和55年4月に茨城県特殊教育諸学校体育連盟として発足し、以来37年間、大会や競技会、各種研修会を通して特別支援学校の体育・スポーツの健全な育成と発展に取り組んできました。現在の茨城県特別支援学校体育連盟の取り組みについて紹介します。

【体育大会】発足当初は、全ての学校が一堂に会して行っていました。現在は3地区開催の記録会となっています。みんなが楽しめるよう、オープン種目やレクリエーション競



体育大会に参加した本校小学部の児童たち

NiWeb

Webに茨城県特別支援学校体育連盟の組織図を掲載

特別支援学校体育連盟が大会や研修会

技も実施しています。

【スポーツ競技会】肢体不自由の陸上とハンドサッカー、知的障害の陸上、サッカー、フライングディスク、卓球を行っています。参加標準記録を設定するなど、競技性を持たせています。

【体育指導研修会】特別支援学校が輪番で体育の授業公開と研究協議を行い、指導力の向上を図ります。全ての学校が参加します。

【競技研修会】各種競技の知識や専門性を高めるために開催しています。本年度はボッチャ、ハンドサッカー、フライングディスク、ジャベリックスローの研修会を行いました。

3年後（平成31年）に茨城県で開催される国民体育大会および第19回全国障害者スポーツ大会に向けて、徐々に機運が高まってきています。また、その翌年（32年）には東京パラリンピックが開催されます。本連盟が本県の障害者スポーツの充実・発展に寄与できるよう、今後も頑張っていきたいと考えます。

（根本忠行・茨城県特別支援学校体育連盟会長、県立盲学校校長）